



月報「ぶどうの木」

2024年3月号

「ピンチをチャンスに」

秋田郁美

カレブは民を静め、モーセに向かって進言した。「断然上って行くべきです。そこを占領しましょう。必ず勝てます。」
民数記 13:30

先日大阪で教団総会が行われました。出席者は35名と少ない中での開催でしたが、選挙も行われ、馬場理事長が再選されました。議案の中には、引退を希望している教職の受け入れもあり、今回2名の牧師が引退されました。昨年は1名が引退、一昨年は重富先生が急逝されましたので、毎年教団の牧師は減少しています。その結果26の教会の内8つの教会に牧師が任命されず、何人かの牧師が兼牧することとなりました。馬場理事長は、3つの教会を兼牧されます。

このように後ろ向きな話題が多い中、私たちの教会が伝道所から教会へと変更することが承認されたことは、唯一の明るい話題だったと思います。主の導きに感謝します。しかし、翌日の牧師の任地の発表で、植田直也師が東部教区の勝田笹野教会から、西部教区の三輪教会に転任になることを知り、東部教区からまた一人若手の先生がいなくなってしまうことを大変残念に思いました。

エジプトを出て約束の地カナンを目指していたイスラエルの民は、12人の偵察隊をカナンに派遣しました。戻って来た10人には、カナンの男たちが巨人のように見え、城壁も高く、自分たちには勝ち目はない、と彼らはすっかり怖気づいてしまいました。しかし、ヨシュアとカレブの2人だけは、主が共にいてくだされば必ず勝てる、とモーセに進言しました。私たちも今こそ、主の助けを信じて教会として、これよりもさらに主に用いられるように、教団全体が困難な状況にある現実の中でも臆することなく勇気をもって前進していきたいと思います。ピンチはチャンスであるどころか、主は全てのことを働かせて益とくださるお方です。コロナ禍の間も教会は守られ、伝道所から教会になることができました。これからもきっと助けてくださいます。

教会となったことで、次の6月の教団総会には、当教会からも信徒代議員が議決に参加します。世界のフリースタジストの教規には、理事や各委員の数が信徒と牧師が1/2ずつで構成されることになっていますが、日本は6名の理事のうち今回1名信徒が増えて2名になったばかりで、規定に達していません。メソジストは伝統的に信徒の役割が大きいのです。一人ひとりの力が必要です。どんな小さな力でも用いていただけるよう、祈り励んでいきましょう。



開店しました！



総会で感謝の報告をする長岡兄

3月役員会決定事項

- ・2月度の経常会計・基金会計・建造物会計が承認された。
- ・西川悟朗兄の会員受け入れが承認された。
- ・ウィルキンズ祐子師に礼拝での説教や司会の奉仕をしていただくことになった。
- ・神戸ひよどり台教会納骨堂建立に対して当教会から2万円献金することとした。
- ・ブラジリアン柔術クラスが始まった場合、会費や運営費の会計処理について、教団に指示を仰いで決めることとした。
- ・5月5日(日)田中恵子姉(内貴先生の長女)が礼拝に参加し、ピアノの特別賛美をしてくださる。子どもの日なので、子どもさんのいる家族にも案内し、礼拝後はサンドイッチの具の持ち寄りによる愛餐会を行う。
- ・コロナ禍で中止していたイースターエッグ(ラッピングしたゆで卵)を40個作ってイースター礼拝で配布する。

2月度の会計報告

経常会計

【収入の部】

【支出の部】

(単位: 円)

月定献金	178,000	牧師謝儀	145,000
礼拝献金	36,762	伝道費	34,677
C S 献金	500	礼典費	4,320
特別感謝献金	17,000	C S 補助	500
祝祭献金		火災保険料	0
雑収入	0	事務消耗費	2,178
<月定献金>		水道光熱費	9,057
秋田家、池田(博)家、池田(真)家、大槻姉、岸田姉		電話代	8,239
長岡家、西村姉、三石家、山田家		什器備品費	4,742
<感謝献金>		教団負担金	0
小嶋姉、長岡家		謝恩金負担金	0
		対外献金	10,762
		慶弔・接待費	0
		研修費	15,000
		基金繰入金	0
		建造物会計繰入金	5,000
収入小計	232,262	支出小計	239,475
前月繰越金	433,909	次月繰越金	426,696
合計	666,171	合計	666,171

教会基金会計 残高 5,000,000 円

報告: 山田正博

教会建造物会計

【収入の部】

【支出の部】

(単位: 円)

経常会計繰入	5,000		
収入小計	5,000	支出合計	0
前月繰越金	76,433	次月繰越金	81,433
合計	81,433	合計	81,433

報告: 秋田郁美